

目標達成計画

作成日: 平成 29年 8月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	認知機能の低下、身体レベルの低下の進行(入居者の重度化)に伴い、職員が精神的に余裕が持てずに業務にあたっている。	職員が気持ちのコントロールをしながら業務にあたる事ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 外部から講師(嘱託医師)を招き、認知症の方への対応の研修を行う。 フロア会議にて認知症の方への対応をシミュレーション形式で苑内研修を行う。 	12ヶ月
2	37	入居者の重度化により、職員側優先の援助となってしまう。	入居者一人ひとりの特性を見極め援助できる。	<ul style="list-style-type: none"> 記録の充実、簡素化ができるよう、ケース記録の書式の見直しを行う。 	12ヶ月
3	13	介護施設での経験が浅い職員も多く、認知症の利用者への対応に悩んでいる職員が多い。	自信を持って日々、業務にあたる事ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 1年を通し、テーマを決め、苑内での研修を実施する。(介護技術、接遇、緊急時対応等) 外部より講師を招き研修を実施する。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。